

開館日カレンダー 2024年10月～2025年3月までの予定

10月							11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5						1	2	1	2	3	4	5	6	7
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	15★	16	17	18	19	20	21
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30	29	30	31				
1月							2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4							1							1
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	2	3	4	5	6	7	8
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11★	12	13	14	15★	9	10	11	12	13	14	15
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	16	17	18	19	20	21	22
26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28		23	24	25	26	27	28	29
														30	31					

■ 休館日 ■ 特別企画展「忘れたくない、大切なもの—高橋まゆみ人形展—」 ■ 企画展「開館5周年記念 雛祭り展（仮）」
■ 特別公開「にんばくのスター 犬宮」 ■ 展示室1・2（常設展）のみ開室 ■ 常設展展示解説 午後2時～ ※申込不要、要観覧券
◆ 特別企画展関連イベント ★ ワークショップ ※12月17日は臨時休館、3月3日は臨時開館。
※特別企画展及び企画展会期中、「着物で岩槻」を開催します。着物で岩槻人形博物館に来館すると、観覧料が無料になります。

これからの展覧会

企画展
「開館5周年記念 雛祭り展（仮）」

2025年1月25日（土）—3月23日（日）

開館以来、毎年恒例の雛祭り展。今回は、開館5周年を記念し、雛人形を中心に当館の名品を紹介します。当館の名品が揃うこの機会に、ぜひご覧ください。



古今雛 江戸時代



紫檀象牙細工蒔絵雛道具 江戸時代

【にぎわい交流館いわつき】

博物館に隣接する、にぎわい交流館いわつきでは、体験講座やイベント、カフェ・ショップでの食事や買物をお楽しみいただけます。（Tel.048-757-2981 / Fax.048-793-4074）

※イベント等の詳細は、ホームページをご覧ください。
<https://www.nigiwai-koryukan.jp/>



■ 基本情報

【開館時間】 午前9時～午後5時

※入館は閉館時刻の30分前まで

【休館日】 月曜日（休日の場合は開館）

年末年始（12月28日～1月4日）

※臨時に休館・開館することがあります。

【観覧料】 一般：300円（団体：200円）

高校生・大学生・65歳以上：150円（団体：100円）

小学生・中学生：100円（団体：50円）

※障害者手帳をお持ちの方と、付き添いの方1名は半額になります。

※団体は20名以上。

※展覧会により観覧料が異なる場合があります。

※掲載資料のうち、特に表記がないものはさいたま市岩槻人形博物館蔵です。



Instagramで情報発信しています！



〒339-0057
埼玉県さいたま市岩槻区本町6-1-1
Tel.048-749-0222 Fax. 048-749-0225
<https://ningyo-muse.jp/>
IWATSUKI NINGYO MUSEUM NEWS Vol.08
2024年9月発行 編集・発行：さいたま市岩槻人形博物館

※このリーフレットは20,000部作成し、1部あたりの印刷経費は約18円です。



◎交通案内

【電車をご利用の場合】 東武アーバンパークライン（野田線）「岩槻駅」から徒歩約10分

※大宮駅から岩槻駅までの所要時間は約12分です。

【車をご利用の場合】 東北自動車道「岩槻IC」出口から約5.5km、車で約12分

※駐車場は、普通自動車用28台、車いす用2台、乗降スペースは、大型バス用2台分があります。なお、にぎわい交流館いわつきとの共用です。



IWATSUKI
NINGYO
MUSEUM
NEWS

Vol. 08

特集

特別企画展「忘れたくない、大切なもの
—高橋まゆみ人形展—」

Contents

特別企画展「忘れたくない、大切なもの—高橋まゆみ人形展—」／

特別公開「にんばくのスター 犬宮」／常設展 Close-up／イベント Information／

学芸員の研究ノート第8回「犬宮ってどんなハコ？」／開館日カレンダー／これからの展覧会



特集

特別企画展

「忘れたくない、大切なもの―高橋まゆみ人形展―」

2024年9月21日(土)―12月8日(日)／展示室3

ノスタルジックな世界を創り上げる人形作家・高橋まゆみ氏。2003年に人形展「故郷からのおくりもの」を開催し、2010年までの7年間に全国90か所以上をまわり、日本各地で大きな反響を呼びました。

あれから十数年。この間、わたしたちは度重なる災害やコロナ禍を経験し、“日常”や“平凡な暮らし”が、とても尊いものであることを実感しました。日常の暮らしが当たり前で無くなりつつある今、高橋氏が人形作品に込めてきた、暮らしのなかの「忘れたくない、大切なもの」というメッセージが、あらためて注目されます。

高橋氏は、居住する長野県飯山市を舞台に、自らの経験や身近な人々をモデルとして、ありのままの暮らしのなかで感じた“光景”を人形にしています。本展では、「風景(ふるさと)」、「時間(おもいで)」、「家族(なかま)」の3つの側面から高橋氏の人形を紹介するとともに、さいたま市の自然豊かな景色に合わせた展示も行います。

高橋氏の人形を通して、多くの人々が、それぞれの暮らしのなかの「大切なもの」を見つめる機会となれば幸いです。

《着物で岩槻》

本展会期中、着物で岩槻人形博物館に来館すると、観覧料が無料になります。

《関連イベント》

高橋まゆみ氏による展示解説

日時：9月21日(土)午前11時～、10月19日(土)午後2時～、各回30分程度

内容：高橋まゆみ氏が自身の作品を解説します。

※申込不要、要観覧券。当日展示室前にお集まりください。



常設展

Close-up

にんばくを代表する名品や季節に関連する作品をご紹介します。ウェルカムケースには、人間国宝・平田郷陽の作品が登場します!展示室2「コレクション展示 日本の人形」も定期的に展示替えを行っていますので、ぜひご注目ください。

餅 平田郷陽

昭和14年(1939)頃

展示室2

2024年10月1日(火)～12月1日(日)

餅を焼こうとぶくつと頬を膨らませ、火吹き竹に一生懸命息を吹き込む子供の姿。写実的な表現を得意とした平田郷陽の技が存分に発揮された作品です。奥主泰司コレクション(寄託品)。



御所人形 獅子舞

江戸時代

展示室2

2024年12月24日(火)～2025年3月下旬(予定)

疫病退散や五穀豊穡を祈願し、正月などに行われる獅子舞の様子をあらわした御所人形。童子たちが獅子頭を担ぎ、太鼓を打ったり踊ったり。生き生きとした表情が魅力的です。おめでたい雰囲気抜群!にんばくでお正月気分をお楽しみください。



イベント

Information

■つくろう、犬宮～いぬばこの絵付け体験～

当館の収蔵品をモチーフとした「つくろうシリーズ」のワークショップ。今回は「犬宮」の特別公開に合わせて、手の平サイズの可愛らしい犬宮を作ります。本物の犬宮をじっくり鑑賞し、にんばくオリジナルの犬宮型に絵付けをして、自分だけの犬宮を作ってみませんか?

日時：2024年12月15日(日)午後2時～4時

会場：当館会議室 定員：16名

対象：小学3年生以上 参加費：600円

応募締切：11月19日(火)



犬宮 (絵付け例)

■つくろう、おひなさま～ふじ雛の絵付け体験～

「つくろうシリーズ」の第2弾は、恒例の“ふじ雛”です。富士山の形をした縁起の良いお雛様(ふじ雛)をモチーフとした型に絵付けを行い、自分だけのオリジナルのふじ雛を作ります。手作りのお雛様で雛祭りをお祝いしませんか?

日時：2025年2月15日(土)

①午前10時～12時、②午後2時～4時

会場：当館会議室 定員：各回16名

対象：小学3年生以上 参加費：400円

応募締切：1月14日(火)



ふじ雛 (絵付け例)

■雛道具の世界～組香をやってみよう 三炷香～

雛道具のなかにある香道具や香道について学び、組香を体験するイベントを開催します。組香のなかでも気軽に楽しめる三炷香を行います。※安藤家御家流

日時：2025年2月11日(火・祝) ①午前10時～11時30分、

②午後1時～2時30分、③午後3時～4時30分

会場：当館会議室 定員：各回18名

参加費：1500円

応募締切：1月14日(火)

【申込方法】

A：往復はがき

①参加希望イベント名、②参加者氏名(ふりがな)、③郵便番号・住所、④電話番号を明記のうえ、当館までお送りください。

小・中学生の場合は⑤学年、⑥保護者氏名(ふりがな)をご記入ください。

※締切日の消印有効。※往復はがきは1枚につき1イベントずつ応募ください。

B：WEB「さいたま市生涯学習情報システム」よりご応募ください。

※WEBは締切当日の午後11時59分まで。

★応募者多数の場合は抽選。各イベントにつき応募は1回のみ。複数応募は無効。

特集2

特別公開

にんばくのスター 犬宮

2024年12月13日(金)―12月27日(金)／展示室3

休館日：12月16日(月)、17日(火)、23日(月)

当館を代表する名品、西澤笛畝コレクションの「犬宮」。胴体には縁起の良い松竹梅鶴亀図や様々な吉祥文様が描かれており、金箔をまとい、とても華やかな雰囲気があります。

今回の特別公開では、犬宮を収める白絵の木箱と、付随する一對の銀杯も展示します。銀杯には、犬宮の胴体にも描かれている「葵の御紋」(三つ葵葉)が施されており、本作の格調の高さがうかがえます。

犬宮は2022年12月以来の2年ぶり、白絵箱と銀杯は「開館記念名品展」以来の4年ぶりとなりますので、ぜひこの機会に実見してみてください!



犬宮 江戸時代



白絵箱



銀杯

第8回

学芸員の研究ノート

犬宮ってどんなハコ?

「犬宮」とは、その名の通り犬型の箱です。胴体部分で上下に開き、中に物を収納できるようになっています。この犬宮、何のために作られ、どのように使われていたのでしょうか。

犬宮がいつから用いられていたかは詳らかではありませんが、江戸時代前期の事典『女用訓蒙図彙』では、女性用の調度品として犬宮が紹介されています(図1)。胴には黒い斑のような模様が描かれており、人間のような動物のような不思議な表情をしています。

出産に関する故実書『産所法式』には、子供が誕生する際に「魔生」を退けるため犬宮を作っておき、男子は15歳で産土に納め、女子は老年までそばに置いて婚礼時には輿に乗せるという記述があります。十代將軍徳川家治養女・種姫の婚礼行列を描いた「徳川種姫婚礼行列図」をみると、犬宮を乗せた輿が行列の先頭に配され、婚儀においても重要視されていた様子がうかがえます(図2)。

また、雛祭りでは人形とともに飾られ女子の誕生や成長を祝

いました。婚礼や出産、女性と関連が深いのは、多産の犬が安産のシンボルとされたためと考えられます。

犬宮は、子供の誕生と成長を願って作られたお守りであり、婚礼や出産など人生の節目とともにする存在であり、とても大切なハコだったといえるでしょう。12月13日(金)より、当館を代表する名品、西澤笛畝コレクションの犬宮を2週間限定で特別公開します。ぜひ、犬宮が辿ってきた道を想像しながらご覧ください。

(学芸員 岩田明日香)



図1 『女用訓蒙図彙』巻1(部分)
江戸時代前期 国立国会図書館
デジタルコレクション



図2 「徳川種姫婚礼行列図」上巻(部分)
江戸時代後期 東京国立博物館蔵
Image: TNM Image Archives